

会報

# やまばと

(第64号)

発行   
 社会福祉法人 浄泉会  
 秦野市渋沢2620-2  
 TEL 0463 (87) 1188  
 発行人 西田精吾

E-MAIL  
 yamabato@galaxy.ocn.ne.jp  
 URL  
 http://www.kanagawa-id.org/yamabato/

## 新年のご挨拶

社会福祉法人 浄泉会

理事長 西田 精吾

新年明けましておめでとうございます。皆様には清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は何かと大変お世話になりました。誠にありがとうございました。とりわけ、峠地区の皆様には本当にお世話になりましたことに、あらためて心から厚く御礼申し上げます。併せまして、家族会、後援会の皆様、地域の皆様、各グループホーム所在地の地域の皆様にも心から厚く御礼申し上げます。

さて浄泉会は昨年で創立二十五周年を迎えるに当たり、施設の経年劣化等もあり後援会の皆様のご支援と法人が力を合わせたりリニューアル計画を進めております。

現在は、当初設計からさらに園内のお風呂場二ヶ所の改築を行ない居室にすることにより四人部屋の解消を図るとともにお風呂場を別棟に入浴棟として建築することになりました。さらに利用者様の高齢化、重度化対策の一環として、ストレッチャーが搬入できるエレベーターを新設することといたし

ました。また、現在法人として駐車場スペースが少なく峠地区の皆様のご支援で個人のご自宅の敷地や近くの神社の境内などをお借りしておりますが、これにつきましてもようやく解決のめどが立ちつつあります。リニューアルについては現在、設計上の課題等を所轄庁と打ち合わせており、本年三月までには設計図が完成し、四月以降に工事が着工できる予定です。

また、本年は社会福祉法人制度改革が施行され昨年十一月に国の政省令も発令され、すでにその一部を実行しているところです。

主たる内容は、社会福祉法人として国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底すること、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的取組みを実施する責務等でございますが、浄泉会としても法人の理念である『やまばと学園信条』を中心に新制度への移行を速やかに行なうと同時に利用者様が、「快適・安心・安全、楽

しくアットホームに健康で満足していただく」という『やまばと学園信条』に則り、また、ISOを始め第三者評価制度のフレームワークを生かした、更なる透明性の確保、信頼性の醸成、継続性の確保、先見性を見出しながら、地域の皆様との融和を図るとともに共生社会の実現に貢献できますように経営を行なうて参ります。

本年も何卒よろしくご指導、ご鞭撻、ご支援賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年  
家族会 会長 水谷 孜

本年もよろしく申し上げます。昨年、福祉の成熟度を試される津久井多殺事件がありました。人権条約で保障された人権が守られたかどうか、大きな疑問が残りました。障害者が望むのは、寄り添った暖かい支援であります。障害者の人権が度外視され、新規建物に向かい「福祉者のための福祉」に重点が置かれてしまいました。今後の障害者支援がマイナス方向になることが明確であり、障害者福祉に対するアピールが弱くなってしまうことを否定できません。建物など施設ではやまゆりより大きな差がありますが、福祉は建物ではなく、障害者と支援者が明るく楽しく安全に暮らせる環境が大切であり、家族会は全面的にバックアップしてまいります。今後とも皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。



新年のご挨拶  
後援会 会長 加藤 明子

新年明けましておめでとうございます。旧年中は浄泉会やまばと学園後援会に多大の御支援を戴きましてありがとうございます。学園も設立より25年。施設の経年劣化も激しく、4人部屋の解消の要望を考えて戴き、現在の入浴室を居室にして、入浴棟、ストレッツチャーが搬送できるエレベーターの設置、また駐車場、運動場としてのスペース等、支援されて支援しての使い勝手、生活しやすい場を後援会の資金を含め法人資金との有効活用されます。待望の年になりますよう…。

昨年の夏の津久井やまゆり園の事件は私共、障害児・者を持つ親にしては予期せぬ悲しい事件でした。亡くなられた皆様のご冥福と心身に傷を負われた皆様、そのご家族の皆様の日も早いご回復を心からお祈り申し上げます。

後援会の会員の皆様には今年もご協力の程、宜しくお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

チューリップ  
通所支援課 鈴木 滋

通所センターでは、例年、戸川公園のチューリップ植え付け隊に参加させていただいています。来年は戸川公園が開園二十周年を迎え、例年にも増して十萬球の球根を植えつけるといふこととで通所センターでは11月4日球根の植え付けに掛けてきました。



来年の春が待ち遠しいです♪

好天にも恵まれ、市内の小学校の生徒さんたちが遠足に訪れ可愛い歓声が沢山あがっている中、気持ちの良い汗を流してきました。来年の春に十萬本のチューリップが咲き乱れる公園に訪れるのを今から楽しみにしています。また、帰りには球根のお土産も頂き、通所センターの庭にも植えつけて、これからの寒い冬を越えて、来年の春の訪れを待とうと思えます。

やまばと学園秋祭り  
支援課 山口 隼人

今年のやまばと学園秋祭りは十月八日に開催しましたが、生憎の雨となってしまい、利用者様と職員、一部ボランティアの方のみでの秋祭りとなりました。少しでも秋祭りの風景を楽しんで頂く為に食堂・多目的室の飾りつけを華やかにし、厨房職員と連携してカレーライス・フランクフルトなど模擬店の出し物を昼食メニューとして楽しみました。

今年も光明学園相模原高等学校和太鼓部の皆様に来ていただき、秋祭りの催し物として素晴らしい和太鼓演奏で私たちを魅了してくださいました。



尚、本年度は昼間の開催を予定していたこともあり、前日・当日の準備は例年に比べてはるかに忙しく、大変でしたがボランティアの方を始め、職員の皆様には大変感謝しています。最後に来年度は必ず晴れるようにこの場を借りてお祈り申し上げます。

支援スタッフ部会

支援課 主任 山崎 桂子

11月11日に、やまばと学園にて「支援スタッフ部会」 県西・湘南西地区の地区会を行いました。

「利用者の自己選択・自己決定支援」「合理的配慮」をテーマにやまばと学園藤澤常務の講義に、他施設より16名の方の参加がありました。

優生思想の克服、共生社会の実現、

そして利用者の自己選択・自己決定の為に私達支援員が「思い」を引き出していく支援の過程の重要性を考えさせられました。言葉で表現して下さる方も「本当の思い」なのかを見極めていく事・表現する事が難しい方には、表現方法を共に探し、寄り添い、思いを汲み取る事、そして利用者の「思い」「ニーズ」に添った支援をしていく為に、改めて考える事が出来た研修会でした。個別支援計画という言葉が少し硬い気がしますが、計画に反映させながら、思いが叶う喜びを増やして行けるよう支援して行きます。



みかん狩り

支援課 主任 渡辺 大志

12月8日、学園より15分程、ドライブをした場所にあるみかん山へ入所・通所の利用者さんと一緒にみかん狩りに行ってきました。

天気もよく、みかん山に着くと顔なじみの方々との挨拶で「〇〇さん元気だった？」と満面の笑顔。用意してくださった所まで行く



とテーブル等もあり、すぐに着席し利用者の皆様も思い思いに好きなみかんを取っては食べる方、自分のホームへお土産にしたいと袋一杯に取っている方等々、とても楽しそうに行なっていました。さらに豚汁・おせんべいも用意してくださり、沢山、おかわりして、皆さん大満足なご様子でした。

帰りには、1人ひとりにお土産のみかんを袋いっぱいを用意していただき、皆さん、ニコニコ顔で学園に戻ってきました。帰りの車内で「いっぱい食べたね。来年も行きたいね」と嬉しそうにお話をする姿をみて職員も嬉しくなりま

した。今回の企画をセッティングしてくださったみかん山の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。沢山のみかんは、グループホーム、通所、入所で分けさせていただき、みんなですていしくいただきました。

忘年会

支援課 篠原 良輔

12月27日に今年最後の行事である『忘年会』が開催されました。

一部では、今年からの新たな試みである写真を観て『今年を振り返ろう』を目的に今年の思い出の写真や動画を今年に写し皆で鑑賞しました。ご家族・利用者と共に大好評でした。また毎年、ボランティアで来てくださっている秦野オカリナ合奏団による演奏は、心地良いハーモニーでその場の雰囲気をお暖かくして下さいました。

第二部では、皆さんが楽しみにしている忘年会特別メニューであるお弁当・ケンタッキーのチキン&ポテトを笑顔で美味しくいただきました。皆さん本当に1年、お疲れ様でした。平成29年も良い年を送れますよう願っています。

GHコーナー

地域支援課 関野 美希

謹んで新年のお喜びを申し上げます。昨年中は、グループホームの利用者様の方々や、ご家族の方々そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼を申し上げます。

新しい年を皆様と共に、グループホームで迎えることができたことを本当に嬉しく思います。

ピジョンハウス・やまばとハウスは、平成27年5月開所以来2度目のお正月を迎え、抱負としては施設内でのサービスの完結ではなく、地域に根差し利用者様の過ごしやすいたいと思えます。「笑顔」を創るお手伝いをすると共に、「個」を大切にしながら、安全な暮らしの場をサポート致します。

職員全員が同じ思いで、利用者様をお迎えしながら、多くの方々のお期待に出来るよう職員一同頑張っています。

今年も皆様からのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



**やまばと学園**

ホームページ  
<http://www.kanagawa-id.org/yamabato/>

メールアドレス  
 yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

### 社会福祉法人浄泉会

### やまばと学園後援会

- 法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。
- 障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

法人会員	年額1口	20,000円
個人会員	年額1口	10,000円
賛助会員	年額1口	3,000円

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)  
 どこの郵便局でも 00220-5-14491 です  
 口座名は 浄泉会やまばと学園後援会  
 新しく会員になられる方はご住所を電話等  
 でお知らせ頂くようお願い致します

やまばと学園内 後援会係担当  
 〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢 2620-2  
 Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

浄泉会やまばと学園後援会の会員・賛助会員を募集しています

### 浄泉会目標語

平成29年の浄泉会目標語は、『夷  
 険一節』（いけんいつせつ）です。  
 平穏な時も大変な時も節義を変え  
 ず貫くことという意味です。

### 編集後記

新年、明けましておめでとうござ  
 います。新たな年、平成29年  
 が始まりました。前回の機関誌よ  
 り園内での印刷になりました。郵  
 送の為の折込に関しては利用者の  
 方々が日中活動としてお手伝いを  
 して下さいます。

現在、情報委員会としてホーム  
 ページをリニューアル中です。  
 新年度には皆  
 様に届けられ  
 るのを目標と  
 しています。  
 期待して下さい。  
 (工藤)

